

# 令和5年度平塚工科高等学校

## 第3回学校運営協議会

### 議事録

**日付:** 令和6年3月11日月曜日

**時刻:** 14:00

**司会:** 教頭

**記録:** 田中（聰）

#### 出席者

出席者一覧参照

#### 校長挨拶

#### 会長挨拶

#### 学校運営協議会

##### 1. 第2回協議会後の活動報告と次年度に向けた課題

###### （1）学事グループ

- ・次年度試験CBT化の検討が課題。

###### （2）生徒支援グループ

- ・特別指導数減少。

- ・SNSの使用方法、自転車マナー、保護者送迎車の路上駐車問題などへの対応が課題。

###### （3）教科外グループ

- ・12月生徒会長選挙実施。新役員決定。

- ・部活動予算折衝、新入生勧誘計画、HPでの活動報告開始

#### (4) 進路グループ

- ・就職：1社目内定率91%。ハローワーク連携面接指導等実施。
- ・進学：4年制大学進学者数減。30名以上→12名  
ただし、総合型選抜合格者など内容的には向上。  
進学に関する経済的支援情報の周知が課題。

#### (5) 総務グループ

- ・PTA活動：活性化している。
- ・地域活動：花水保育園合同避難訓練実施。  
1年生対象平塚市消防連携春の防災訓練実施。

#### (6) 広報企画グループ

- ・学校広報活動  
中学1、2年生の学校説明会参加者増加。  
一部中学への出前授業は好評。  
上級学校説明会での印象→工業高校が意識外。広報活動が課題。

#### (7) 総合技術グループ

- ・産学連携…インターンシップ実施。12社21名。
- ・高大連携…出前授業中止。次年度計画中。
- ・資格取得…資格取得への意欲喚起が課題。

### 学校評価部会

別紙学校評価報告書参照

#### (1) 一人一台端末について

- ・経済的に苦しい場合、学校で貸出。

#### (2) 資格について

- ・自動車整備士は発表時期が遅い為、昨年度の資料。合格率は毎年高い。
- ・計算技術検定の合格率が低い。資格取得への意欲喚起が必要。

## 協議、意見交換

Q : SC、SSW の不足はないのか。

A : 今のところ対応できている。

Q:一人一台端末の状況は

A:教科により利用頻度が違う。1 学年中心に 1 クラスあたり平均 6 人程度貸し出している。

ピークが重なると端末が不足する。

1 年は全員発表機会があり利用しているが、スマホでも対応可能。

以前はインフラ整備（Wi-Fi 環境）の遅れがあったが改善されている。

Q:平塚市小中は公費で一人一台端末貸与。高校生が使えないのは気の毒。

委員からの声という形で県に届けてほしい。

A:委員の発言は重要かつありがたい。これ以上貸し出しが増えると貸出困難。

Q:SC、SSW の勤務は？サポートドッグで 100 名程度の面談が必要となっていたが？

増員の必要があれば委員からの要望としてあげてほしい。

A:週 1 日勤務。一緒に動くときは合わせるようにしている。

予約は空きがある。対人関係の悩みが多い。面談を実施し、落ち着いてきている。

Q:CBT 化について、業務負担軽減になるのか？高校単位での対応？

A:県に問い合わせ中。Google フォーム利用。

採点は一瞬で終わるため、業務改善が図れるとともに、正誤把握が容易で試験後のフィードバックが可能。欠席者も自宅での受験が可能。導入時期は検討中。

Q:当社において次年度の採用計画が決定している。今年以上に1次選考を緩めにする。

入社してから育てる。

資格取得は興味あるものにチャレンジしてほしい。資格試験は複数回受験できるのか？

複数回チャレンジする意識付けをしてほしい。

A:複数回受験可能なものもある。

Q:花水保育園との合同訓練の内容について

A:小さい子は本校まで保育園職員に引率されて来るだけ。実際には4階まで上がる所以、

どういう対応をするか要検討。

Q:保護者の立場から見ると、1年生では資格に興味がなかった。2年生では友人たちが受けたので受けている。資格と仕事の関連性がわからない。将来への繋がりが見えるといい。

定員オーバーで受けられない資格があり、もういいやとなっていた。定員があるのか？

A:コロナ禍では定員を設けていたが、今は撤廃している。企業で必要なら企業でも取得可能。

Q:藤沢工科の生徒が小学4年生対象のスマート教室を本校にて実施する。学区内の貴校が来てくればお互いにいい関係が築ける。

A:6年前理科の出前授業を4年生対象に実施した。また、今年度は中学校向けに電気の出前授業を実施した。ご要望があれば出向くきっかけになる。

Q:校長クラスルームを持っており、夏のものづくり体験を全生徒に向けて直接宣伝している。

参加希望者がいても、学年制限により参加できない。

A:検討。

## 学校関係者評価

メールでご意見を。

## **副校長より**

- ・辞職願提出の件

次年度継続不可の場合、副校长まで要連絡。

## **校長より**

- ・不祥事の件について

## **閉会**